

研究課題名：プロテオーム解析を用いた男性不妊症診断に寄与するバイオマーカー探索および各種症状スコアの相関に関する研究

1. 研究の対象

実施承認日～2022年3月31日までの間、当院にて体外受精・胚移植を目的として採精された方で、本研究課題について同意を得られた成人男性を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：日本国内では夫婦6組に1組が不妊に悩んでいるといわれています。原因の半分は男性側にあると言われてはいますが、我が国の現在の不妊治療は女性が主体であり、仮に男性側に原因があった場合、それを専門に診察できる施設は非常に少なく、不妊に悩む男性にとって十分な体制や環境が整っているとは言えません。また、男性は女性に比べて実施できる検査も限られています。

そこで、より簡便で、かつ、できる限り苦痛の少ない検査法の確立が必要であると考えました。私どもは、血液から男性不妊の診断に寄与できるバイオマーカー（病気などの“目印”となる生体内の物質）を見つけ、さらに男性不妊症の原因を突き止めることで、新しい男性不妊治療法の開発を目指しています。

方法：実施承認日～2022年3月31日までの間、当院にて、体外受精・胚移植を実施し採精された成人男性の中で、本研究への参加に同意が得られた研究対象者の血液検体と精液検査後の残精漿を使用させていただきます。その後、当院での精液検査の結果と今回私たちが候補とするタンパク質の比較検証を行います。

研究期間：実施承認日～2023年3月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：静脈血（日常診療に必要な量に加えて5mLの静脈採血を追加させていただきます）と精液検査後の残精漿を研究に使用させていただきます。

情報：身長・体重・年齢・性別・血圧・既往歴・投薬歴・臨床化学検査値・精液検査結果・内分泌学的検査値・血液検査値・尿検査値・超音波検査所見・体外受精 or 胚移植の成績（精液所見・受精率・受精胚グレード・妊娠率・流産率）を研究に使用させていただきます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
名古屋大学医学部附属病院 総務課. TEL:052-744-1901

研究責任者：
名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門
主任臨床検査技師 菊地良介
〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
TEL: (052) 741-2111(代表)